

平成28年6月30日
北海道静内高等学校

平成28年度第1回学校評議員会の記録

1 日 時 平成28年6月22日（水）18:00～19:00

2 会 場 北海道静内高等学校 校長室

3 出席者 11名

学校評議員5名、校長、教頭、事務長、教務副部長、生徒指導部長、進路指導部長

4 次 第

- ①委嘱状交付 ②学校経営方針説明 ③学校状況等の説明
- ④意見交換 ⑤今後の日程

5 主なご意見

○日高管内から25%程の中学生が管外へ進学している。間口減の問題は本校においても遠い未来の話ではないことから、生徒確保に向けた取組を積極的に行う必要がある。例えば、代行バスの乗車時間短縮に向けてのJRへの要望や、町で行っている高校生への通学費補助・奨学金の拡大支給などについて、要請することも一つの方策と考える。これからは「オール日高」という考えで子どもたちの教育にあたることを求められていると思う。

○静内高校で教えている科目数が80以上もあることに驚いた。また、進路についても、国立大学現役進学者が平成27年3月卒業生が24名、平成28年3月卒業生が18名と安定していることに加え、就職決定率も7年連続で100%となっていて、自分たちの頃とは随分と違っていると感じた。先生方の頑張りには心から敬意を表す。静内高校がどんどん良くなっていることをうれしく思うとともに、今後もこの状況を維持するために卒業生として、同窓会などにも積極的な支援を働きかけたいと感じている。

○中学校での出前授業や学習ボランティアなど、中学校との連携が強化されていると感じる。また、近隣の四中学校全校生徒や町内の各所での静内高校の学校だよりを配布したことは、町全体としての静内高校への理解につながると思うので、これからも続けてほしい。小中学校、そして、町内への働きかけを今後も積極的に行っていただきたい。

○昨年度も実施した中学生の保護者対象静内高校説明会を今年度も実施して、中学生及び保護者の進路選択に向けた取組を支援してもらいたい。静内高校の卒業生の進路など、知っているようで知らないことが案外多いことに、昨年度初めて説明会に参加してわかった。

○生徒の夏季略装にクールビズを導入してくれたことは、ありがたい。かつて本校でもポロシャツ（白のみ）が許されていたこともあり懐かしく感じる。生徒の自律心を育てる上でも効果があると思う。ただ、町内への情報発信を適切に行い、「最近の静高生の服装はだらしない」と誤解する町民がでることのないようにしてもらいたい。